

政治経済学部カリキュラム【2022年度以降入学者】

科目区分		卒業に必要な単位数	科目											
			4つの科目群から各4単位以上修得すること											
基礎科目	28	人文科学科目群		社会科学科目群		自然科学科目群		総合科目群						
		哲学概論、哲学史、基礎論理学、応用論理学概論、歴史学★、国語表現★、日本文学★、外国文学、言語と文化、留学認定科目（基礎科目・人文）		法学★、地理学★、文化人類学A、文化人類学B、現代心理学、心理学概論、文化論概論★、異文化理解とコミュニケーション、異文化摩擦とコミュニケーション、国際地域研究基礎論、ジェンダー論Ⅰ、ジェンダー論Ⅱ、留学認定科目（基礎科目・社会）		基礎数学、数学概論、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、線形代数学Ⅲ、線形代数学Ⅳ、解析学Ⅰ、解析学Ⅱ、科学史A、科学史B、技術史A、技術史B、物理科学概論A、物理科学概論B、環境科学概論A、環境科学概論B、生命科学概論A、生命科学概論B、留学認定科目（基礎科目・自然）		教養演習ⅠA、教養演習ⅠB、教養演習ⅡA、教養演習ⅡB、教養演習ⅠC☆、教養演習ⅡC☆、日本事情A、日本事情B、日本事情C、ICTベーシックⅠ、ICTベーシックⅡ、ICTエレメンタリー、ICTベーシック、共通総合講座Ⅰ※、共通総合講座Ⅱ※、国際文化特殊講義A、国際文化特殊講義B、Top School Seminar（International Cultures）A、Top School Seminar（International Cultures）B、留学認定科目（基礎科目・総合）						
		◆留学認定科目（基礎科目・人文）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる		◆留学認定科目（基礎科目・社会）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる		◆留学認定科目（基礎科目・自然）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる		※共通総合講座Ⅰ・Ⅱの修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる ◆留学認定科目（基礎科目・総合）の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる						
外国語科目	16	2言語を選択必修とし、所定の単位（英語は6単位以上、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語および日本語は8単位以上）を修得すること												
		英語		ドイツ語		フランス語		中国語		スペイン語		日本語（外国人留学生のみ）		
学部間共通外国語		※「学部間共通外国語」科目のうち、政治経済学部で設置している言語科目												
健康・運動科学科目		4	1年次必修2単位		運動学演習Ⅰ－1、運動学演習Ⅰ－2									
			選択必修2単位		運動学演習Ⅱ－1、運動学演習Ⅱ－2、生涯スポーツ演習 運動学演習Ⅲ－1、運動学演習Ⅲ－2、運動学演習Ⅳ－1、運動学演習Ⅳ－2、健康・運動科学Ⅰ、健康・運動科学Ⅱ、健康・運動科学Ⅲ									
基本科目	3学科共通基本科目	—	キャリアデザイン総合講座、海外留学演習Ⅰ、海外留学演習Ⅱ 政治学特殊講義A、政治学特殊講義B、社会学特殊講義A、社会学特殊講義B、マスコミュニケーション特殊講義A、マスコミュニケーション特殊講義B、経済学特殊講義A、経済学特殊講義B、経済政策特殊講義A、経済政策特殊講義B、地域行政特殊講義A、地域行政特殊講義B 海外留学演習Ⅲ・海外留学演習Ⅳ、留学準備講座、留学基礎講座 就業力育成総合講座A、就業力育成総合講座B、就業力育成総合講座C、就業力育成総合講座D、就業力育成総合講座E 留学認定科目（基本科目・3学科共通）											
			修得単位は、卒業に必要な単位数に含めない科目 左記の5科目の就業力育成総合講座の修得単位は、2単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。 ◆留学認定科目（基本科目・3学科共通）の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる。											
基本科目	1・2年次配当	42	政治学科の関係科目				経済学科の関係科目				地域行政学科の関係科目			
			1年次必修10単位 憲法★、政治学基礎、政治理論基礎、政治学・社会学総合講座 2年次必修4単位 政治学原論★ 行政学基礎、行政理論基礎、社会学A、社会学B、ジャーナリズム論、メディアコミュニケーション論、統計学★、社会科学方法論★、Top School Seminar（Politics）A、Top School Seminar（Politics）B、Top School Seminar（Sociology）A、Top School Seminar（Sociology）B、Top School Seminar（Mass Communication）A、Top School Seminar（Mass Communication）B、留学認定科目（基本科目・政治学科） 政治学科の学生は、3・4年次配当の基本科目（政治学関係科目）を12単位修得				1年次必修14単位 マクロ経済学★、ミクロ経済学★、経済史★、経済学総合講座 2年次選択必修6単位 経済政策、財政学、経済学史、現代経済事情 経済原論★、統計学★、数量経済分析、日本経済史★、経済思想★、社会思想史★、簿記論★、社会科学方法論★、Top School Seminar（Economics）A、Top School Seminar（Economics）B、Top School Seminar（Economic Policy）A、Top School Seminar（Economic Policy）B、留学認定科目（基本科目・経済学科）				1年次必修12単位 憲法★、政治学基礎、政治理論基礎、マクロ経済学★ 2年次必修8単位 行政学基礎、行政理論基礎、地域研究総合講座★ 民法（総則）、民法（物権）、地方自治法、地域研究論、地域分析法、簿記論★、統計学★、社会科学方法論★、Top School Seminar（Local Governance）A、Top School Seminar（Local Governance）B、留学認定科目（基本科目・地域行政学科）			
応用科目	3・4年次配当	（所属学科の関係科目）	政治思想史、政治理論史、日本政治史★、西洋政治史★、現代思想、現代政治理論、日本政治思想史、日本政治文化論、メディアリテラシー論、国際コミュニケーション論、マスメディア論、メディアと世論 自治体経営論★、国家論、現代国家分析、国際政治学★、都市政策、都市行政、政治過程論★、政治体制論、政治体制変動論、比較政治論★、比較政治論（東アジア）★、計量政治学、政治行動論、国際関係史★、アジア政治論、アメリカ政治論、ラテンアメリカ政治論、アフリカ政治論、ロシア政治論、東欧政治論、現代社会学A、現代社会学B、現代社会心理学A、現代社会心理学B、産業心理学、消費心理学、社会調査法、フィールドワーク論、比較社会学★、民俗学A、民俗学B、社会人類学A、社会人類学B、地域開発論、地域振興論、地域情報論、応用数量分析、国際法A、国際法B、行政法★、Top School Seminar（Politics）C、Top School Seminar（Politics）D、Top School Seminar（Politics）E、Top School Seminar（Politics）F、Top School Seminar（Sociology）C、Top School Seminar（Sociology）D、Top School Seminar（Sociology）E、Top School Seminar（Sociology）F、Top School Seminar（Mass Communication）C、Top School Seminar（Mass Communication）D、Top School Seminar（Mass Communication）E、Top School Seminar（Mass Communication）F、留学認定科目（応用科目・政治学科） ◆各学科の留学認定科目（基本科目）の修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる ◆各学科の留学認定科目（応用科目）の修得単位は、14単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる				社会経済史、近代経済学史★、国際経済史、現代経済史、社会経済思想史★、近代経済学★、経済統計学★、経済変動論★、計量経済学★、数理経済学★、経済政策原理、国際経済学★、現代日本経済論、産業組織論★、金融論、金融政策、国際金融論★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、地方財政論★、中小企業論★、地域産業論★、人口学★、労働経済学★、社会保障論★、協同組合学★、現代経済政策★、食料経済学★、開発経済学★、国際経済政策★、財政政策★、環境経済学★、租税論、応用数量分析、Top School Seminar（Economics）C、Top School Seminar（Economics）D、Top School Seminar（Economics）E、Top School Seminar（Economics）F、Top School Seminar（Economic Policy）C、Top School Seminar（Economic Policy）D、Top School Seminar（Economic Policy）E、Top School Seminar（Economic Policy）F、留学認定科目（応用科目・経済学科）				地域行政学★、都市政策、都市行政、自治体経営論★、地方財政論★、社会保障論★、行政情報論、公共政策学★、公会計学★、行政法★、社会福祉政策論、コミュニティ福祉論、地域産業論★、中小企業論★、協同組合学★、食料経済学★、労働経済学★、異文化ビジネス論概論、実践異文化ビジネス論、地域政策論A、地域政策論B、地域政策論C、地域政策論D、地域政策論E、地域政策論F、地域政策論G、地域政策論H、地域政策論I、地域政策論J、環境経済学★、地域情報論、人口学★、経済地理学★、地域開発論、地域振興論、応用数量分析、民法（債権）、民法（家族法）、経済法★、地域創造総合講座★、地域研究インターンシップ、Top School Seminar（Local Governance）C、Top School Seminar（Local Governance）D、Top School Seminar（Local Governance）E、Top School Seminar（Local Governance）F、留学認定科目（応用科目・地域行政学科）			
			3学科共通関係科目		日本・アジア文化論A、日本・アジア文化論B、日本・アジア文化論C、日本・アジア文化論D、日本・アジア文化論E、ヨーロッパ文化論A、ヨーロッパ文化論B、ヨーロッパ文化論C、ヨーロッパ文化論D、ヨーロッパ文化論E、ヨーロッパ文化論F、アメリカ文化論A、アメリカ文化論B、アメリカ文化論C、アメリカ文化論D、アメリカ文化論E、アメリカ文化論F、アメリカ文化論G、アメリカ文化論H、アメリカ文化論I、アメリカ文化論J、アメリカ文化論K、アメリカ文化論L、アメリカ文化論M、アメリカ文化論N、アメリカ文化論O、アメリカ文化論P、アメリカ文化論Q、アメリカ文化論R、アメリカ文化論S、アメリカ文化論T、アメリカ文化論U、アメリカ文化論V、アメリカ文化論W、アメリカ文化論X、アメリカ文化論Y、アメリカ文化論Z、アメリカ文化論AA、アメリカ文化論AB、アメリカ文化論AC、アメリカ文化論AD、アメリカ文化論AE、アメリカ文化論AF、アメリカ文化論AG、アメリカ文化論AH、アメリカ文化論AI、アメリカ文化論AJ、アメリカ文化論AK、アメリカ文化論AL、アメリカ文化論AM、アメリカ文化論AN、アメリカ文化論AO、アメリカ文化論AP、アメリカ文化論AQ、アメリカ文化論AR、アメリカ文化論AS、アメリカ文化論AT、アメリカ文化論AU、アメリカ文化論AV、アメリカ文化論AW、アメリカ文化論AX、アメリカ文化論AY、アメリカ文化論AZ、アメリカ文化論BA、アメリカ文化論BB、アメリカ文化論BC、アメリカ文化論BD、アメリカ文化論BE、アメリカ文化論BF、アメリカ文化論BG、アメリカ文化論BH、アメリカ文化論BI、アメリカ文化論BJ、アメリカ文化論BK、アメリカ文化論BL、アメリカ文化論BM、アメリカ文化論BN、アメリカ文化論BO、アメリカ文化論BP、アメリカ文化論BQ、アメリカ文化論BR、アメリカ文化論BS、アメリカ文化論BT、アメリカ文化論BU、アメリカ文化論BV、アメリカ文化論BW、アメリカ文化論BX、アメリカ文化論BY、アメリカ文化論BZ、アメリカ文化論CA、アメリカ文化論CB、アメリカ文化論CC、アメリカ文化論CD、アメリカ文化論CE、アメリカ文化論CF、アメリカ文化論CG、アメリカ文化論CH、アメリカ文化論CI、アメリカ文化論CJ、アメリカ文化論CK、アメリカ文化論CL、アメリカ文化論CM、アメリカ文化論CN、アメリカ文化論CO、アメリカ文化論CP、アメリカ文化論CQ、アメリカ文化論CR、アメリカ文化論CS、アメリカ文化論CT、アメリカ文化論CU、アメリカ文化論CV、アメリカ文化論CW、アメリカ文化論CX、アメリカ文化論CY、アメリカ文化論CZ、アメリカ文化論DA、アメリカ文化論DB、アメリカ文化論DC、アメリカ文化論DD、アメリカ文化論DE、アメリカ文化論DF、アメリカ文化論DG、アメリカ文化論DH、アメリカ文化論DI、アメリカ文化論DJ、アメリカ文化論DK、アメリカ文化論DL、アメリカ文化論DM、アメリカ文化論DN、アメリカ文化論DO、アメリカ文化論DP、アメリカ文化論DQ、アメリカ文化論DR、アメリカ文化論DS、アメリカ文化論DT、アメリカ文化論DU、アメリカ文化論DV、アメリカ文化論DW、アメリカ文化論DX、アメリカ文化論DY、アメリカ文化論DZ、アメリカ文化論EA、アメリカ文化論EB、アメリカ文化論EC、アメリカ文化論ED、アメリカ文化論EE、アメリカ文化論EF、アメリカ文化論EG、アメリカ文化論EH、アメリカ文化論EI、アメリカ文化論EJ、アメリカ文化論EK、アメリカ文化論EL、アメリカ文化論EM、アメリカ文化論EN、アメリカ文化論EO、アメリカ文化論EP、アメリカ文化論EQ、アメリカ文化論ER、アメリカ文化論ES、アメリカ文化論ET、アメリカ文化論EU、アメリカ文化論EV、アメリカ文化論EW、アメリカ文化論EX、アメリカ文化論EY、アメリカ文化論EZ、アメリカ文化論FA、アメリカ文化論FB、アメリカ文化論FC、アメリカ文化論FD、アメリカ文化論FE、アメリカ文化論FF、アメリカ文化論FG、アメリカ文化論FH、アメリカ文化論FI、アメリカ文化論FJ、アメリカ文化論FK、アメリカ文化論FL、アメリカ文化論FM、アメリカ文化論FN、アメリカ文化論FO、アメリカ文化論FP、アメリカ文化論FQ、アメリカ文化論FR、アメリカ文化論FS、アメリカ文化論FT、アメリカ文化論FU、アメリカ文化論FV、アメリカ文化論FW、アメリカ文化論FX、アメリカ文化論FY、アメリカ文化論FZ、アメリカ文化論GA、アメリカ文化論GB、アメリカ文化論GC、アメリカ文化論GD、アメリカ文化論GE、アメリカ文化論GF、アメリカ文化論GG、アメリカ文化論GH、アメリカ文化論GI、アメリカ文化論GJ、アメリカ文化論GK、アメリカ文化論GL、アメリカ文化論GM、アメリカ文化論GN、アメリカ文化論GO、アメリカ文化論GP、アメリカ文化論GQ、アメリカ文化論GR、アメリカ文化論GS、アメリカ文化論GT、アメリカ文化論GU、アメリカ文化論GV、アメリカ文化論GW、アメリカ文化論GX、アメリカ文化論GY、アメリカ文化論GZ、アメリカ文化論HA、アメリカ文化論HB、アメリカ文化論HC、アメリカ文化論HD、アメリカ文化論HE、アメリカ文化論HF、アメリカ文化論HG、アメリカ文化論HH、アメリカ文化論HI、アメリカ文化論HJ、アメリカ文化論HK、アメリカ文化論HL、アメリカ文化論HM、アメリカ文化論HN、アメリカ文化論HO、アメリカ文化論HP、アメリカ文化論HQ、アメリカ文化論HR、アメリカ文化論HS、アメリカ文化論HT、アメリカ文化論HU、アメリカ文化論HV、アメリカ文化論HW、アメリカ文化論HX、アメリカ文化論HY、アメリカ文化論HZ、アメリカ文化論IA、アメリカ文化論IB、アメリカ文化論IC、アメリカ文化論ID、アメリカ文化論IE、アメリカ文化論IF、アメリカ文化論IG、アメリカ文化論IH、アメリカ文化論II、アメリカ文化論IJ、アメリカ文化論IK、アメリカ文化論IL、アメリカ文化論IM、アメリカ文化論IN、アメリカ文化論IO、アメリカ文化論IP、アメリカ文化論IQ、アメリカ文化論IR、アメリカ文化論IS、アメリカ文化論IT、アメリカ文化論IU、アメリカ文化論IV、アメリカ文化論IW、アメリカ文化論IX、アメリカ文化論IY、アメリカ文化論IZ、アメリカ文化論JA、アメリカ文化論JB、アメリカ文化論JC、アメリカ文化論JD、アメリカ文化論JE、アメリカ文化論JF、アメリカ文化論JG、アメリカ文化論JH、アメリカ文化論JI、アメリカ文化論JJ、アメリカ文化論JK、アメリカ文化論JL、アメリカ文化論JM、アメリカ文化論JN、アメリカ文化論JO、アメリカ文化論JP、アメリカ文化論JQ、アメリカ文化論JR、アメリカ文化論JS、アメリカ文化論JT、アメリカ文化論JU、アメリカ文化論JV、アメリカ文化論JW、アメリカ文化論JX、アメリカ文化論JY、アメリカ文化論JZ、アメリカ文化論KA、アメリカ文化論KB、アメリカ文化論KC、アメリカ文化論KD、アメリカ文化論KE、アメリカ文化論KF、アメリカ文化論KG、アメリカ文化論KH、アメリカ文化論KI、アメリカ文化論KJ、アメリカ文化論KK、アメリカ文化論KL、アメリカ文化論KM、アメリカ文化論KN、アメリカ文化論KO、アメリカ文化論KP、アメリカ文化論KQ、アメリカ文化論KR、アメリカ文化論KS、アメリカ文化論KT、アメリカ文化論KU、アメリカ文化論KV、アメリカ文化論KW、アメリカ文化論KX、アメリカ文化論KY、アメリカ文化論KZ、アメリカ文化論LA、アメリカ文化論LB、アメリカ文化論LC、アメリカ文化論LD、アメリカ文化論LE、アメリカ文化論LF、アメリカ文化論LG、アメリカ文化論LH、アメリカ文化論LI、アメリカ文化論LJ、アメリカ文化論LK、アメリカ文化論LM、アメリカ文化論LN、アメリカ文化論LO、アメリカ文化論LP、アメリカ文化論LQ、アメリカ文化論LR、アメリカ文化論LS、アメリカ文化論LT、アメリカ文化論LU、アメリカ文化論LV、アメリカ文化論LW、アメリカ文化論LX、アメリカ文化論LY、アメリカ文化論LZ、アメリカ文化論MA、アメリカ文化論MB、アメリカ文化論MC、アメリカ文化論MD、アメリカ文化論ME、アメリカ文化論MF、アメリカ文化論MG、アメリカ文化論MH、アメリカ文化論MI、アメリカ文化論MJ、アメリカ文化論MK、アメリカ文化論ML、アメリカ文化論MN、アメリカ文化論MO、アメリカ文化論MP、アメリカ文化論MQ、アメリカ文化論MR、アメリカ文化論MS、アメリカ文化論MT、アメリカ文化論MU、アメリカ文化論MV、アメリカ文化論MW、アメリカ文化論MX、アメリカ文化論MY、アメリカ文化論MZ、アメリカ文化論NA、アメリカ文化論NB、アメリカ文化論NC、アメリカ文化論ND、アメリカ文化論NE、アメリカ文化論NF、アメリカ文化論NG、アメリカ文化論NH、アメリカ文化論NI、アメリカ文化論NJ、アメリカ文化論NK、アメリカ文化論NL、アメリカ文化論NM、アメリカ文化論NO、アメリカ文化論NP、アメリカ文化論NQ、アメリカ文化論NR、アメリカ文化論NS、アメリカ文化論NT、アメリカ文化論NU、アメリカ文化論NV、アメリカ文化論NW、アメリカ文化論NX、アメリカ文化論NY、アメリカ文化論NZ、アメリカ文化論OA、アメリカ文化論OB、アメリカ文化論OC、アメリカ文化論OD、アメリカ文化論OE、アメリカ文化論OF、アメリカ文化論OG、アメリカ文化論OH、アメリカ文化論OI、アメリカ文化論OJ、アメリカ文化論OK、アメリカ文化論OL、アメリカ文化論OM、アメリカ文化論ON、アメリカ文化論OO、アメリカ文化論OP、アメリカ文化論OQ、アメリカ文化論OR、アメリカ文化論OS、アメリカ文化論OT、アメリカ文化論OU、アメリカ文化論OV、アメリカ文化論OW、アメリカ文化論OX、アメリカ文化論OY、アメリカ文化論OZ、アメリカ文化論PA、アメリカ文化論PB、アメリカ文化論PC、アメリカ文化論PD、アメリカ文化論PE、アメリカ文化論PF、アメリカ文化論PG、アメリカ文化論PH、アメリカ文化論PI、アメリカ文化論PJ、アメリカ文化論PK、アメリカ文化論PL、アメリカ文化論PM、アメリカ文化論PN、アメリカ文化論PO、アメリカ文化論PP、アメリカ文化論PQ、アメリカ文化論PR、アメリカ文化論PS、アメリカ文化論PT、アメリカ文化論PU、アメリカ文化論PV、アメリカ文化論PW、アメリカ文化論PX、アメリカ文化論PY、アメリカ文化論PZ、アメリカ文化論QA、アメリカ文化論QB、アメリカ文化論QC、アメリカ文化論QD、アメリカ文化論QE、アメリカ文化論QF、アメリカ文化論QG、アメリカ文化論QH、アメリカ文化論QI、アメリカ文化論QJ、アメリカ文化論QK、アメリカ文化論QL、アメリカ文化論QM、アメリカ文化論QN、アメリカ文化論QO、アメリカ文化論QP、アメリカ文化論QQ、アメリカ文化論QR、アメリカ文化論QS、アメリカ文化論QT、アメリカ文化論QU、アメリカ文化論QV、アメリカ文化論QW、アメリカ文化論QX、アメリカ文化論QY、アメリカ文化論QZ、アメリカ文化論RA、アメリカ文化論RB、アメリカ文化論RC、アメリカ文化論RD、アメリカ文化論RE、アメリカ文化論RF、アメリカ文化論RG、アメリカ文化論RH、アメリカ文化論RI、アメリカ文化論RJ、アメリカ文化論RK、アメリカ文化論RL、アメリカ文化論RM、アメリカ文化論RN、アメリカ文化論RO、アメリカ文化論RP、アメリカ文化論RQ、アメリカ文化論RR、アメリカ文化論RS、アメリカ文化論RT、アメリカ文化論RU、アメリカ文化論RV、アメリカ文化論RW、アメリカ文化論RX、アメリカ文化論RY、アメリカ文化論RZ、アメリカ文化論SA、アメリカ文化論SB、アメリカ文化論SC、アメリカ文化論SD、アメリカ文化論SE、アメリカ文化論SF、アメリカ文化論SG、アメリカ文化論SH、アメリカ文化論SI、アメリカ文化論SJ、アメリカ文化論SK、アメリカ文化論SL、アメリカ文化論SM、アメリカ文化論SN、アメリカ文化論SO、アメリカ文化論SP、アメリカ文化論SQ、アメリカ文化論SR、アメリカ文化論SS、アメリカ文化論ST、アメリカ文化論SU、アメリカ文化論SV、アメリカ文化論SW、アメリカ文化論SX、アメリカ文化論SY、アメリカ文化論SZ、アメリカ文化論TA、アメリカ文化論TB、アメリカ文化論TC、アメリカ文化論TD、アメリカ文化論TE、アメリカ文化論TF、アメリカ文化論TG、アメリカ文化論TH、アメリカ文化論TI、アメリカ文化論TJ、アメリカ文化論TK、アメリカ文化論TL、アメリカ文化論TM、アメリカ文化論TN、アメリカ文化論TO、アメリカ文化論TP、アメリカ文化論TQ、アメリカ文化論TR、アメリカ文化論TS、アメリカ文化論TT、アメリカ文化論TU、アメリカ文化論TV、アメリカ文化論TW、アメリカ文化論TX、アメリカ文化論TY、アメリカ文化論TZ、アメリカ文化論UA、アメリカ文化論UB、アメリカ文化論UC、アメリカ文化論UD、アメリカ文化論UE、アメリカ文化論UF、アメリカ文化論UG、アメリカ文化論UH、アメリカ文化論UI、アメリカ文化論UJ、アメリカ文化論UK、アメリカ文化論UL、アメリカ文化論UM、アメリカ文化論UN、アメリカ文化論UO、アメリカ文化論UP、アメリカ文化論UQ、アメリカ文化論UR、アメリカ文化論US、アメリカ文化論UT、アメリカ文化論UU、アメリカ文化論UV、アメリカ文化論UW、アメリカ文化論UX、アメリカ文化論UY、アメリカ文化論UZ、アメリカ文化論VA、アメリカ文化論VB、アメリカ文化論VC、アメリカ文化論VD、アメリカ文化論VE、アメリカ文化論VF、アメリカ文化論VG、アメリカ文化論VH、アメリカ文化論VI、アメリカ文化論VJ、アメリカ文化論VK、アメリカ文化論VL、アメリカ文化論VM、アメリカ文化論VN、アメリカ文化論VO、アメリカ文化論VP、アメリカ文化論VQ、アメリカ文化論VR、アメリカ文化論VS、アメリカ文化論VT、アメリカ文化論VU、アメリカ文化論VV、アメリカ文化論VW、アメリカ文化論VX、アメリカ文化論VY、アメリカ文化論VZ、アメリカ文化論WA、アメリカ文化論WB、アメリカ文化論WC、アメリカ文化論WD、アメリカ文化論WE、アメリカ文化論WF、アメリカ文化論WG、アメリカ文化論WH、アメリカ文化論WI、アメリカ文化論WJ、アメリカ文化論WK、アメリカ文化論WL、アメリカ文化論WM、アメリカ文化論WN、アメリカ文化論WO、アメリカ文化論WP、アメリカ文化論WQ、アメリカ文化論WR、アメリカ文化論WS、アメリカ文化論WT、アメリカ文化論WU、アメリカ文化論WV、アメリカ文化論WW、アメリカ文化論WX、アメリカ文化論WY、アメリカ文化論WZ、アメリカ文化論XA、アメリカ文化論XB、アメリカ文化論XC、アメリカ文化論XD、アメリカ文化論XE、アメリカ文化論XF、アメリカ文化論XG、アメリカ文化論XH、アメリカ文化論XI、アメリカ文化論XJ、アメリカ文化論XK、アメリカ文化論XL、アメリカ文化論XM、アメリカ文化論XN、アメリカ文化論XO、アメリカ文化論XP、アメリカ文化論XQ、アメリカ文化論XR、アメリカ文化論XS、アメリカ文化論XT、アメリカ文化論XU、アメリカ文化論XV、アメリカ文化論XW、アメリカ文化論XX、アメリカ文化論XY、アメリカ文化論XZ、アメリカ文化論YA、アメリカ文化論YB、アメリカ文化論YC、アメリカ文化論YD、アメリカ文化論YE、アメリカ文化論YF、アメリカ文化論YG、アメリカ文化論YH、アメリカ文化論YI、アメリカ文化論YJ、アメリカ文化論YK、アメリカ文化論YL、アメリカ文化論YM、アメリカ文化論YN、アメリカ文化論YO、アメリカ文化論YP、アメリカ文化論YQ、アメリカ文化論YR、アメリカ文化論YS、アメリカ文化論YT、アメリカ文化論YU、アメリカ文化論YV、アメリカ文化論YW、アメリカ文化論YX、アメリカ文化論YY、アメリカ文化論YZ、アメリカ文化論ZA、アメリカ文化論ZB、アメリカ文化論ZC、アメリカ文化論ZD、アメリカ文化論ZE、アメリカ文化論ZF、アメリカ文化論ZG、アメリカ文化論ZH、アメリカ文化論ZI、アメリカ文化論ZJ、アメリカ文化論ZK、アメリカ文化論ZL、アメリカ文化論ZM、アメリカ文化論ZN、アメリカ文化論ZO、アメリカ文化論ZP、アメリカ文化論ZQ、アメリカ文化論ZR、アメリカ文化論ZS、アメリカ文化論ZT、アメリカ文化論ZU、アメリカ文化論ZV、アメリカ文化論ZW、アメリカ文化論ZX、アメリカ文化論ZY、アメリカ文化論ZZ									
応用科目	専門演習科目	—	専門演習（卒業論文）【4学期間連続履修】											
	原典研究科目	4	●専門演習（卒業論文）履修者 専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ、専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅱ いずれも専門演習担当教員が指定した授業を履修すること ●専門演習（卒業論文）を履修しない者 原典講読Ⅰ、原典講読Ⅱ											
		—	原典講読Ⅲ、原典講読Ⅳ											
	総合講座科目	—	応用総合講座A、応用総合講座B、応用総合講座C、応用総合講座D、応用総合講座E、応用総合講座F、応用総合講座G、応用総合講座H、応用総合講座I、応用総合講座J										総合講座科目の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる	
応用科目	特殊講義科目	—	政治学特殊講義C、政治学特殊講義D、政治学特殊講義E、政治学特殊講義F、社会学特殊講義C、社会学特殊講義D、社会学特殊講義E、社会学特殊講義F、マスコミュニケーション特殊講義C、マスコミュニケーション特殊講義D、マスコミュニケーション特殊講義E、マスコミュニケーション特殊講義F、経済学特殊講義C、経済学特殊講義D、経済学特殊講義E、経済学特殊講義F、経済政策特殊講義C、経済政策特殊講義D、経済政策特殊講義E、経済政策特殊講義F、地域行政特殊講義C、地域行政特殊講義D、地域行政特殊講義E、地域行政特殊講義F、国際文化特殊講義C、国際文化特殊講義D、国際文化特殊講義E、国際文化特殊講義F、Top School Seminar（International Cultures）D、Top School Seminar（International Cultures）E、Top School Seminar（International Cultures）F、留学認定科目（応用科目・特殊講義）										◆留学認定科目（応用科目・特殊講義）の修得単位は、4単位まで卒業に必要な単位数に認定することができる	
	情報科目	—	ICT統計解析Ⅰ、ICT統計解析Ⅱ、ICTデータベースⅠ、ICTデータベースⅡ、ICTメディア編集Ⅰ、ICTメディア編集Ⅱ、ICTアプリ開発Ⅰ、ICTアプリ開発Ⅱ、ICTコンテンツデザインⅠ、ICTコンテンツデザインⅡ、ICT総合実践Ⅰ、ICT総合実践Ⅱ、ICT統計解析入門、ICT統計解析応用、ICTデータベース入門、ICTデータベース応用、ICT画像編集入門、ICT画像編集応用、ICT動画編集入門、ICT動画編集応用、ICT音楽編集入門、ICT音楽編集応用、ICTプログラミング入門、ICTプログラミング応用、ICTWebページ作成、ICTeラーニングデザイン入門、ICTeラーニングデザイン応用、ICTプレゼンテーション											
	資格課程科目	—	日本史概論、東洋史概論、西洋史概論、地誌学概論、人文地理学概論、自然地理学概論、法律学概論、倫理学概論						修得単位は、8単位まで卒業に必要な単位数に含めることができる。					
	グローバル人材を育成する全学部共通科目	—	グローバル人材育成プログラム科目											
	卒業に必要な単位に含めない	実習科目（社会実習） 大学院政治経済学研究科設置科目、専門職大学院会計専門職研究科設置科目												
		①専門演習履修者は、4年次に通年で最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、4年次の大学間および学部間の協定校・認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。 ②専門演習を履修しない者（コース登録者）は、在学最終学期に最低4単位以上を修得しなければならない。ただし、在学最終学期の大学間および学部間の協定校・認定校への留学プログラムまたはそれに該当すると教授会が認めたプログラムの参加者は、この要件を適用しない。 ③上記①の4年次および②在学最終学期における単位修得の要件には、外国語検定試験による単位認定制度を利用した認定単位は含めない。												
合計 124 単位修得														

- (1) 表中の卒業に必要な単位数【基礎科目28単位、外国語科目16単位、健康・運動科学科目4単位、基本・応用科目42単位、原典研究科目4単位】を超えて修得した単位は、卒業に必要な単位数に含める。
(2) 専門演習を履修しない者、および未修得者は、別に定めるコース指定の科目を20単位以上修得しなければならない。
(3) 表中の網掛けは、卒業要件に関する説明文章なので、特に注意すること。
(4) 斜体の科目は、2025年度入学者のみ履修が可能である。なお、2024年度以前の入学者は履修することができない。
- ★は半期集中科目、☆は通年科目